

県人教だより



ふれあい

発行所：鳥取県人権教育推進協議会（県人教）

〒680-0846 鳥取市扇町2-1番地

鳥取県立生涯学習センター 県民ふれあい会館内

TEL：0857(22)0578/FAX：0857(22)0593

URL：http://torikenjinkyou.sakura.ne.jp/

発行者 岡崎 周治

全同教結成70周年

第74回全国人権・同和教育研究大会

「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」を大会テーマとした、第74回全国人権・同和教育研究大会が11月25日、26日の両日、明石市、神戸市、京都府八幡市、大阪府（池田市他全4市）、大阪市を会場に開催され約1万人が参加しました。各分科会分散会では部落問題をはじめ、様々な人権課題を解決し人権尊重社会を構築するための実践が報告され、どの会場でも参加者は積極的に質問し、学びを深めることができました。また報告終了後にも報告者と参加者が熱く意見交換する場面も見受けられました。



見受けられました。

本県からは、第4分科会 人権確立をめざすまちづくり「第5分散会」（会場：大阪府立柴島高等学校）で、大山町中山ふれあいセンター 前田一二三さんが、「地区学習会へのこだわり～共に学び、共に行動する～」という題で報告されました。

中山ふれあいセンターでは、現在まで、地区進出学習会が50年間続いており、開講以来1地区児童生徒100%の参加率を継続されています。参加者はその歴史に驚きながら、「100%の参加率を継続できている何か特別な取組の話があれば

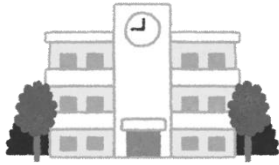
聞かせてほしい」という質問がありました。

その質問に、フロアにおられた生活相談員さんから、入学前に新1年生の全家庭を訪問し、家族全員に地区進出学習会のねらい、内容について理解を求め、参加の呼びかけをしているとの報告がありました。保護者が学習会に参加する意義が分かっていることは大切なことだと思います。保護者が子どもの参加に理解があり、保護者の協力体制もできています。「ここに差別があるからこそ、学習会は必要なんだ」という前田さんの熱いと共に、自分たちの問題として、子どもたちと学ぼうという保護者の熱意が代々受け継がれています。小中学校教職員、センター職員も同じ思いで活動できていることも大きいと感じました。

会場には、大山町の小中学校の先生方も参加されており、学校の取組の補足発言もありました。これらを基に、本分科会の課題に迫る活発な交流・討議になりました。

また、本研究大会の実践報告協力者（司会者）として、鳥取県立鳥取西高等学校 坂口俊広さんには、第3分科会「進路・学力保障」、鳥取市人権情報センター 福壽みどりさんには第4分科会「人権確立をめざすまちづくり」で務めていただきました。大変お世話になりました。





公開人権教育 LHR 学習参観

鳥取県立鳥取商業高等学校 人権教育公開 LHR

2023(令和5)年10月26日(木)

鳥取県立八頭高等学校 人権教育公開 LHR

2023(令和5)年11月8日(水)

鳥取商業高校では、2年生の学習を参観しました。障がい者問題の学習でした。鳥取盲・聾学校の先生方をゲストティーチャーに迎え、自らの「当たり前」意識を振り返る学習でした。障がい者問題は、「克服するのはその人の責任」とする個人モデルから、「障がい(障壁)をつくっているのは社会であり、それを取り除くのは社会の責務」という社会モデルへのシフトが今の流れです。毎日の通学で街の中を通る高校生にとって様々な障がいのある方に出会うことは多いと思います。私たち大人を含め、一人ひとりが社会モデルの担い手となっていきたいものだと思います。

八頭高校では、1年生の学習を参観しました。アサーション(自分も相手も大事にしつつ主張はしっかり行う)を理解し、そのスキルを高めていく学習でした。大人でも難しいことではありますが、座席の隣同士でのペアやグループでのやりとりを通して学びを深めていました。高校生にとって身近な SNS でのトラブル回避においても大切な学習だと感じました。授業の中で、どう伝えるかの問いに対して、LINE など SNS だという生徒があったことは“今風”だと思うと同時に、文字情報による誤解を防ぐリテラシーが大事だと感じました。(文責 石岡 和明)

2024(令和6)年 各種集会・研究会の予定 (日程確定分のみ)

■全国人権教育研究協議会主催

第75回全国人権・同和教育研究大会 11月30日(土)～12月1日(日) 熊本、福岡、鹿児島
第15回中国ブロック人権・同和教育研究集会 10月 山口市

■全国人権教育協議会後援等

第67回部落解放全国女性集会 5月18日(土)～19日(日) 群馬県高崎市
第49回西日本夏期講座 6月13日(木)～14日(金) 大分県別府市
第55回部落解放・人権夏期講座(高野山夏期講座) 未定 和歌山県
第38回人権啓発研究集会 2月1日(木)～2日(金) 京都市
第45回全国人権保育研究集会 10月26日(土)～27日(日) 徳島市
部落解放第68回全国青年集会 8月31日(土)～9月1日(日) 東京都
部落解放第56回全国高校生集会 8月31日(土)～9月1日(日) 東京都

編集後記



山陰に本格的に雪が降ってくる時期になりました。毎年、目が覚めて、辺り一面の銀世界を見ると、「美しいなあ」と思うこともあります。ただ「家の前の雪かきが身体が動かし難くてつらい」とか、「雪の中を指定された場所までゴミを持って行くことが出来ない」とおっしゃっている方が私の近所に何人かおられます。そんな方の何かの役に立てればという思いで、雪かきやゴミ運びの手伝いを進んですることが自分の恒例行事になりました。雪かきをした玄関先やゴミを運んだ集積場所を見て、そっと自分に「おつかれさん」とつぶやいてやります。そうしたら少しだけ気持ちがよくなります。

でも本当に人に優しく、謙虚に生活しているのか時々考えることがあります。自分とは相容れぬ他人を否定したり、自分が優秀だと思いあがって得意になったりしてはいないかと自分を振り返って反省しています。決して背伸びをしないで、人のために尽くすことができる人間になりたいと思います。

今年一年いろいろとお世話になりました。来年もよろしく願いいたします。(文責 佐々木 雅人)